

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ほっとあがの基本理念、法人理念を提示し職員で共有し利用者様、御家族様とかかわっている。	地域に密着した生活を送ることを取り入れた、事業所独自の理念が作成されています。日々目に付くよう、各ユニット・玄関等に掲示しているとともに、ユニット及び職員個人の目標も設定し振り返りの機会も設け、理念の実践に向けた取り組みが行われています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	回覧板のやり取り、地域のゴミステーションを利用している。ゴミステーションの掃除当番も回っている。障害者施設の方が月に2回段ボール等回収に来てくれています。	今年度は新型コロナウイルスの影響で活動を自粛していますが、実習生の受け入れを行ったり、地域のゴミステーションの清掃当番も回してもらおうなど、地域との交流に努めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	以前は年に2回介護保険説明会を開催し地域の方へ情報を発信していたが、今年度も新型コロナウイルスの影響で開催できていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に1度会議を開催しているがコロナ感染対策の為資料配布となっている。	新型コロナウイルスの影響で書面での開催となっておりますが、2ヶ月に1回、市の担当者・自治会長・民生委員・ご家族代表等に活動報告やご利用者の状況報告など事業所の状況を伝え、ご意見を頂き、サービスの質の向上に活かす取り組みがされています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	利用者様獲得に包括支援センターへの相談・情報をもらっている。あがの市民病院地域連携室との関わりつなげている。	運営に関して不明な点等があれば連絡し確認しているほか、市の担当者には運営推進会議でも事業所の活動等を報告しており、事業所の状況を把握してもらうことに努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人の身体拘束委員会からの伝達をミーティングで確認し合っている。拘束に関する資料を両ユニットに配っている。基本的に玄関の施錠は行っていない。	玄関の施錠も夜間のみとしているほか、身体拘束廃止委員会や研修時に徹底がなされ、身体拘束を行わないケアが基本とされています。	研修報告書が実際に行った時間や日付を記載されていない報告書がありましたので、今後改善されることを期待します。
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人の身体拘束、高齢者虐待防止委員会からの伝達をミーティングで話し合いを行っている。委員会の研修を受けている。	身体拘束同様に職員会議や職員研修時に徹底しているほか、職員が虐待防止に関する研修に参加した際は、研修内容を職員同士で検討することによって虐待防止に関する理解を深めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度利用について地域包括センターの指導をいただきながら申請させてもらった。現在は2名様が制度を使用している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の時、契約書を読み上げて説明させていただいている。疑問点についてはその都度お答えしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や受診の帰りの時に意見や要望を聞くようにしている。意見箱を設置している。	運営推進会議や面会時にご家族からの意見・要望も確認し、サービスに活かせるように努めています。また、ご家族から頂いた意見や要望は支援経過に記載し、職員間で共有するようにしています。	介護計画のご家族の意向確認のやりとりが支援経過等に記載されていない方もいましたので、今後記録に残されることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	本人の目標設定、面談時やその都度意見を聞き、意見を言わせてもらっている。	毎月のユニット会議も内容を職員に事前に周知し行われています。定期的に職員との個別面談において意見や要望を確認し、対応するように努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	給与水準については事業所手当や資格取得支援制度が設けられている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナ禍にそったWEB研修、各委員会による研修等を受けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流、勉強会は本年度も行われていない。しばたGH、むらかみGHとの合同会議で意見を聞くことができています。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	これまでの環境や現状を、ご本人やご家族から教えていただき、困っていることや不安等についてともに解決につなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談において、家族の困りごとや意向を確認し良好な関係が気づけるよう努めている。入居3日ぐらいにはご本人の様子を電話にて報告行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	できる限りご本人、ご家族が何を求めているか把握に努め、その時必要な支援を行っている。ヘルパーステーションとの関わりも密にして支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に利用者様を人生の先輩と認識を持ち、「してあげる」ではなく「させて頂く」という気持ちで関わり日々「ありがとうございます」の感謝の心で接するように声掛け行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様のこれまでの生活やなじみのある道具や習慣、情報をご家族様よりお聞きし、時には電話や面会にて共にご本人様を支援している。	毎月の請求書と一緒に担当職員よりお手紙をお送りしたり、月に1度ホームの広報を作成し、ご家族に事業所の状況をご理解していただけるよう努めています。ご利用者と一緒に自宅や畑に出かけるご家族もおり、ご家族にも協力して頂けるよう努めています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍ということもあり外出等で馴染みの場所へ行く機会は減ってしまったが、ドライブやその他の情報等を日々の会話の中に取り入れるよう努めている。	新型コロナウイルスの影響で制限もありますが、知人や親族に面会に来て頂いたり、ご家族にも協力して頂き定期的に自宅に帰られるご利用者もおり、馴染みの関係が途切れないうよう支援しています。	個人別の面会届や外出届が作成されていない方もいましたので、作成されるように周知・徹底されることを期待します。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々のレクリエーションや家事活動を通し利用者様同士が協力し合える場面や、職員が間に入りかけ橋になることで関わり合い等の支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後他施設に移られた際利用者様、本人について必要な際には状況開示ができる準備を行っている。退居されたご家族が花、野菜等を持ってきてくださっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の意向や希望をお聞きしご家族とも電話にてお聞きしている。記録に残し、ミーティングにて職員間で共有している。	ご利用者やご家族からの意向も面会時等で確認するとともに、日常のケアの中で得た情報はケース記録に記入して職員間で共有することで思いや意向の把握がされています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様とご家族から、生活歴・生活環境をお聞きしたり、他施設の利用時情報を提供していただいている。	6ヶ月に1度はアセスメントシートを作成し、これまでの生活の様子を把握するため、ご家族にも協力してもらいセンター方式の書類を記入してもらっています。居室担当の職員ごとに情報を記入し、職員間で共有できるようにしています。	フェイスシートや介護要約が見直されていない方もいましたので、今後見直し方法について検討されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方や様子、バイタルや排泄の記録を残し職員間で共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月行っているミーティング時利用者様の状態や課題等の対応について話し合い、計画書につなげ評価表に残している。	毎月行われているユニット会議において各ご利用者のケア等について話し合いをしており、介護計画が作成されています。定められた期間に応じた介護計画の見直しを行うほか、毎月のモニタリングにおいてご利用者の状態をチェックし、変化が生じた場合には随時見直しが行われています。	モニタリング実施日や実施者が記載されていない方もいましたので、今後記載されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や申し送りで情報を共有している。変化があればその都度話したりミーティングで話しサービス見直しに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	担当職員が中心となり、ご本人やご家族の要望を聞き、把握に努め、個々のサービスの提供ができています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎年ボランティア様、子供神楽等楽しみにお待ちしていたが本年もコロナにて交流ができなかった。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診時日々の様子を医療連携表に記入しバイタル表を用意し今後の指示をいただくことがある。	ご利用者・ご家族が希望する主治医での受診が行われています。基本として受診の同行はご家族となっているため、書面にてご利用者に関する情報伝達が行われています。また、ホームに往診に来ていただいたり、状況に応じて職員が同行し受診支援を行うこともあります。	医療機関へ提出する医療連携表が統一した書式になっていないので、今後書式を統一されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回の看護師に利用者様の気になることを伝え指導してもらっている。歩行リハビリ等も行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時はご家族様と情報交換をし、新しい現状を把握している。医療関係者とも情報を共有し利用者様が安心して治療が受けられるよう信頼関係に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様への現状の報告をし、よく話し合い検討している。主治医をはじめとし、支援に取り組めるよう努めている。	現在のホームの環境を考え、医療的なケアが必要なければ最後まで支援していきたいと考えており、ご利用開始時にご家族に説明し同意を得ているとともに、職員間でもその方針は共有されています。また、ご利用者の状態に合わせて必要時には医師も交え話し合いの場を持ち、ご利用者・ご家族の意向を確認し、ホームですることを伝え、医療機関とも連携し支援しています。	ご家族から頂いている看取りの同意書の氏名・日付が記載されていない方もいましたので、今後ミスが無いように改善されることを期待します。
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡マニュアルの把握、定期的な確認訓練を行っている。夜間での緊急時では職員で集合することで利用者様の安全を考えた動きに備えている。	法人内でも普通救命講習や救急対応シミュレーションについて研修の機会を設けており、緊急時に適切な対応ができるように努めています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練の実施を行っている。夜間の発生時に備え夜勤者のみの動きも身につけている。地域の方の参加も依頼しているがコロナにて参加されていない。	ホームにおいて、年2回の日中の地震や夜間の火災を想定した避難訓練を実施しており、地域の方にも災害時に協力して頂けるように避難訓練への参加要請をしています。	緊急連絡網の電話番号に誤りがありましたので、今後作成後のチェック方法を検討されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の話をよくお聞きし、受容する態度で丁寧な言葉遣いを心がけている。	職員は入社時に個人情報に関するの同意を行い、ご家族にも広報に掲載するご利用者の写真の同意も得られています。また、職員の接遇についても振り返る機会を持ち、声掛けなど羞恥心に対する配慮も行われています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話の中で好きな食べ物等をお聞きして、行事や誕生会に取り入れている。どのようなレクリエーションをしたいか等も自分で決められるよう声掛け行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のその日の体調に合わせ無理のないよう過ごして戴いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせて服装をご本人に選んでもらっている。髪カットの依頼もご本人に決めてもらい訪問美容師を頼んでいる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常会話の中で地元特有の食べ物・材料をお聞きし、メニューに入れている。菊もぎ等利用者様に教えてもらいながら一緒に行っている。	ご利用者にも野菜の皮むき・盛り付けなどの準備、食事の片付けも協力してもらっています。また、ご利用者の要望に応じた献立にしたり、ケーキ作りやどら焼き作りもご利用者と一緒に行い、食事が楽しみなものになるよう努めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本社から管理栄養士が月1回来所し、利用者様の水分、食事量、栄養バランスなど指導していただいている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行っている。直接介助の方、また訪問歯科の口腔内管理を受けている利用者様もいる。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的の声掛けを行い、行動や排泄パターンを把握しトイレ誘導を心がけている。	全てのご利用者に対して水分・排尿・排便のチェックを行ない、時間による画一的な誘導ではなく、しぐさや動きをもとに排泄パターンを把握し、誘導がされています。	下剤を使用している方について、一覧表で排便の状態に合わせてどのような対応をするかを分かりやすくされることを期待します。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床後水分、牛乳をとってもらったり、食事にヨーグルトをつけるなどし便秘予防をしている。また体操・レクリエーションの声掛けを行い参加を促している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の入浴のタイミングを考えその方々にあった入浴方法で対応している。	入浴時間はご利用者の希望が尊重されています。入浴を嫌がられる場合は、無理強いをすることなく時間を置いてタイミングを見計らう、さりげない声掛けを行うなど工夫がされています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の体操を働きかけたり、園庭を散歩したり、きちんと水分を取る等して生活リズムを整える工夫している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の名前、薬の名前を薬袋に1つずつ記入し理解しながらできるようにしている。また、受診後に薬の変更等あった場合申し送りし記録を確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様が日常生活の中で茶碗拭き、ゴミ袋づくり、花の水あげ等役割を担って、職員が中に入りコミュニケーションを取りながら気分転換の支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	園庭の周りの散歩、日向ぼっこ、ドライブ等を行っている。またプランターに作物を植え収穫も行った。コロナ対策の為お出かけ支援は限られてしまった。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛している部分もありますが、ご利用者の誕生日にはご利用者の要望に合わせて担当職員と外食や買い物に出かけたり、季節に合わせてお花見やあやめ見学などのドライブ、日常的な近隣への買い物や散歩などの外出支援が行われています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様より預かったお金を個人の出納長を用いて管理を行い、大金の場合金庫に保管している。受診時のタクシー代、おやつ代、カット代等に使用している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様への電話やメール等のやり取りで様子をお伝えしたり、お便りでも状況を伝えている。ご本人の意向で電話を掛ける等の支援も行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間を過ごしやすく整えたり(室温、テレビ、CD等の配慮)季節の壁画飾りを一緒に手作りで行っている。野菜作りも一緒にしている。	共有スペースにはソファが置かれ、ご利用者がゆったりとテレビを見ながら過ごせるようになっています。また、季節を感じるお花やご利用者の作品の掲示などもされており、居心地のよい空間が作られています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に過ごせるようゆっくりとテレビを観たり、ホールのソファや玄関前のベンチで過ごしたり、園庭を眺めたり、一緒に散歩したりとくつろいでいただいている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各自居室には使い慣れたものや飾り、ご家族の写真等を飾られている。物の配置もご本人の意向に合わせて設置している。	ご利用者の愛用していたラジオや家具などの持込みや写真の掲示など、一人ひとりが居心地良く過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニット内の動線に手すりを設置、トイレを分かりやすいように明記している。安全に移動できるように足元には物を置かず片付け、自由に歩行していただいている。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				